

1. 科目名 (単位数)	東アジアの中の日本文化 (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2181
2. 授業担当教員	高 峽		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>従来、日本の文化はアメリカやヨーロッパと比較され、その差異に目を向けられることが多かった。一方、東アジア諸国と日本は、古くからの交流の歴史において、人々の移動やそれにもなう文化の影響など、相互的共通性を有しているものの、一様というわけではない。</p> <p>本講義では、中国や韓国を中心とした東アジア諸国と日本の文化について、比較したり文化的特徴を見出したりしていく。日本文化や日本人の文化的行動との共通性や類似性ととともに、日本との関係性や欧米との対比では見過ごされてしまいがちな差異などについて扱っていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本文化について、改めて考え理解を深めることができるようになる。</li> <li>2. 東アジア諸国と日本の関係について理解することができるようになる。</li> <li>3. 東アジアの文化について、共通性ととともに差異性など多面的にとらえることができるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習をしておく。 事前学習・事後学習の確認として、適宜口頭発表や小テストを実施する。</li> <li>2. 東アジアにおける日本のサブカルチャーの影響について分析し、レポートを作成して提出する。</li> <li>3. 講義で扱うテーマの中から一つ取り上げ、具体例を示しながら文化を比較分析し、レポートを作成して提出する。</li> </ol> <p>詳細については、講義内で指示する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 資料は適宜講義で配付する。</p> <p>【参考書】 講義内で適宜紹介する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 (学習目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本文化について、改めて考え理解を深めることができたか。</li> <li>2. 東アジア諸国と日本の関係について理解することができたか。</li> <li>3. 東アジアの文化について、共通性ととともに差異性など多面的にとらえることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法 以下の点を総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度 総合点の 30% : 積極的な参加、課題の提出状況などにより評価。</li> <li>2. グループ・ワーク 総合点の 30% : 共同作業での発言、役割貢献などにより評価。</li> <li>3. 試験・レポート 総合点の 40% : 基礎知識の理解、自身の意見の表出の程度により評価。</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>各回の事前学習と事後学習を必ず達成したうえで、授業に臨むこと。</p> <p>配付資料は熟読し、授業に持参すること。</p> <p>異なる文化、多様な文化に興味を持っていることが望ましい。</p> <p>自身の身近な生活の中にある異文化を意識して観察し、関連付けながら受講すること。</p> <p>講義内容を積極的に聴き、必要に応じて自身が振り返る際に理解できる言葉・表現でメモすること。</p> <p>自身の意見や考えについて積極的に発信していくこと。</p>		
13. オフィスアワー	初回の講義内で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション: 東アジア圏についての概要、授業の進め方	事前学習	シラバスを確認し、扱うテーマや内容について把握しておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方について整理しておく。
第 2 回	東アジアの伝統文化	事前学習	東アジアについて地理的に確認しておく。
		事後学習	東アジアの文化的共通性について振り返っておく。
第 3 回	東アジアのサブカルチャー	事前学習	サブカルチャーにはどのようなものがあるか考えをまとめておく。
		事後学習	日本のサブカルチャーの影響について振り返っておく。
第 4 回	日中韓の言語行動の特徴	事前学習	自身の言語行動の特徴について振り返っておく。
		事後学習	日中韓の言語行動の特徴について整理しておく。
第 5 回	日中韓の非言語行動の特徴	事前学習	言葉以外の行動にはどのようなものがあるか、振り返っておく。
		事後学習	日中韓の非言語行動の特徴について整理しておく。

第6回	日中韓の家族観	事前学習	自身の家族に対する考え方について振り返っておく。
		事後学習	日中韓の家族に対する考え方について整理しておく。
第7回	日中韓の仕事観	事前学習	自身の仕事に対する考え方について考えをまとめておく。
		事後学習	日中韓の仕事に対する考え方について整理しておく。
第8回	日中台韓の教育観	事前学習	進学した動機について自身の考えを振り返っておく。
		事後学習	日中台韓の教育に対する考え方について整理しておく。
第9回	日中韓の対人関係	事前学習	自身はどのように他者との関係を築いたり維持したりしているか振り返っておく。
		事後学習	日中韓の対人関係の形成や維持について整理しておく。
第10回	東アジアの文化的行動：中国	事前学習	中国のイメージや中国人の行動特徴について自身の考えをまとめておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、中国の文化的行動を整理しておく。
第11回	東アジアの文化的行動：台湾	事前学習	台湾のイメージについて自身の考えをまとめておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、台湾の文化的行動を整理しておく。
第12回	東アジアの文化的行動：韓国	事前学習	韓国のイメージや韓国人の行動特徴について自身の考えをまとめておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、韓国の文化的行動を整理しておく。
第13回	東アジアの文化的行動：日本	事前学習	中台韓の文化的行動を踏まえ、日本人らしい行動とはどのような行動であるか考えをまとめておく。
		事後学習	中台韓と日本の文化的行動を比較しながら、全体的に整理しておく。
第14回	東アジアにおける文化交流	事前学習	文化交流への参加経験がある場合には、振り返っておく。
		事後学習	東アジアの交流の歴史について整理しておく。
第15回	総括：既習内容の振り返り、重要ポイントのまとめ	事前学習	既習内容について総復習をし、不明な点がないか確認しておく。
		事後学習	ノートや資料を整理し、レポートを作成する。